

会議の開催結果について

1 会議名	第38回河内長野市地域公共交通会議
2 開催日時	平成30年1月22日(月)午後3時から
3 開催場所	河内長野市役所802会議室
4 会議の概要	<p>(1) 企画乗車券PRチラシについて</p> <p>(2) 河内長野市地域公共交通計画(案)について</p> <p>(3) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</p> <p>(4) 商工祭でのバス・タクシーの展示について</p> <p>(5) その他</p>
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 都市づくり部 都市創生課 交通政策係 (内線540、541)
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第38回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第38回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成30年1月22日(月) 午後3時～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 (非公開とした 場合はその理由)	公開
傍聴者	0人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	(1) 企画乗車券PRチラシについて (2) 河内長野市地域公共交通計画(案)について (3) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について (4) 商工祭でのバス・タクシーの展示について (5) その他
会議内容	別紙会議内容のとおり

### 第38回河内長野市地域公共交通会議委員 名簿

	氏名	所属・役職
会長	榊井 繁春	河内長野市 副市長
委員	日野 泰雄	大阪市立大学 名誉教授
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
委員	湯川 義彦	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官
委員	田内 文雄	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官
委員	植澤 徹也	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐
委員	白井 康之	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長
委員	井元 正和	大阪府 河内長野警察署 交通課 課長代理
委員	秋元 克之	南海バス株式会社 企画部 企画課長
委員	松内 祐二	南海バス株式会社 営業部次長 兼 営業課長
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表
委員	林 邦昭	大阪第一交通株式会社 河内長野営業所長
委員	小谷 和也	近鉄タクシー株式会社 業務部長
委員	小出 泰弘	南海電気鉄道株式会社 鉄道営業本部 統括部 課長
委員	森本 治実	近畿日本鉄道株式会社 総合企画本部 計画部 課長兼鉄道本部 企画統括部 営業企画部 課長
委員	山田 昭儀	河内長野市老人クラブ連合会 会長
委員	上野 修二	河内長野市観光協会 会長
委員	若林 勝美	河内長野市商工会理事
委員	仲村 義郎	市民公募
委員	甲斐 由紀	市民公募
委員	洞淵 元秀	河内長野市保健福祉部長
委員	太口 智裕	河内長野市環境経済部長
委員	梅谷 武博	河内長野市都市づくり部長
委員	小西 昌敏	河内長野市総務部長
委員	小林 章良	河内長野市総合政策部長

この頁は空白です。

第 38 回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 第38回河内長野市地域公共交通会議開会の案内</li> <li>➢ 各委員の出欠状況の報告</li> </ul>
事務局	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">【議題1】企画乗車券PRチラシについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 資料1（企画乗車券PRチラシについて）について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</li> </ul>
榎井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 特典について、どれだけサービスを受けたかグランプリのようなイベントが出来たら良いなと思う。</li> </ul>
上野委員 (観光協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ マップに天野山のフルーツランドがあるが、昨年10月の台風で現在閉めているので、次回から地図から外して頂いて結構だと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ フルーツランド天野山に関係する部局に確認しており、最終的には地図から外すようにする。</li> </ul>
上野委員 (観光協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 運営しているのが2人しかいないので難しいのではないかと。</li> </ul>
榎井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現場の傍まで行き、航空写真を見ると、復旧が難しいくらいに被害が大きいと思った。ぶどう狩りやみかん狩りへ行ったことがあり、楽しいところだが、今のところバスマップから外させてもらって、再建したら掲載するようにしたい。</li> </ul>
上野委員 (観光協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 年末にお会いしたときは、もうやめたと言われていた。</li> </ul>
仲村委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バスマップについては以前の大版が無くなって、形が変わるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ お持ちのマップの裏にモックルカードの情報が入る。大きさは前と同じでカラーで印刷する。</li> </ul>
仲村委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ このマップは特典が載っているので、市民は持ち歩いて使うと思う。そうすると分厚いものを持ち歩くのは嫌がられるのではないかと？バスマップは大版がいいが、これは縮小版がいいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 確かに、高齢者のことを考えるとコンパクトの方がいいということはあるが、</li> </ul>

	<p>今年度は前回までの会議で4つ折にしてA4サイズにすることで業者とも契約をしている。今後は皆さんにとって使い勝手がいいバスマップにしていきたいと考えている。</p>
<p>仲村委員 (市民公募) 事務局</p>	<p>➤ この案は先行して決まっていたということか？</p> <p>➤ 作る大きさ等は決まっていて、デザイン等は皆さんの意見をお聞きして校正したい。</p>
<p>仲村委員 (市民公募) 事務局</p>	<p>➤ レイアウトも決まっているのか？案か？</p> <p>➤ 今日の案についてご意見を頂いて、可能な範囲で対応したい。</p>
<p>榊井会長  事務局</p>	<p>➤ 施設の数が増えたらサイズが小さくなるといったこともあるのか？</p> <p>➤ その可能性もあるが、2店舗は増やす余地がある。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【議題2】河内長野市地域公共交通計画（案）について</b></p> <p>➤ 資料2（仮称：河内長野市地域公共交通計画（案））について説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)</p>
<p>山田委員 (老人クラブ連合会)</p>	<p>➤ 計画の56頁にある「運転に不安を感じられる方が安心して免許を返納できる交通環境の整備」について、平成29年4月13日に、河内長野警察署がキックスにおいて、交通安全研修会を実施した。老人クラブとしても協力して、反射、運動能力を自覚して頂き、交通事故に遭わないようにと思っている。市民の声として、山間部、丘陵地帯に住んでいる方はどうしても車を手放せないという声もあった。1月20日の新聞記事で、免許証返納のアンケートを取った結果が載っていた。免許証を返納するには、返納時期はいつになるか尋ねたら、70歳以上で自分の身体能力の低下を感じた時と回答した方が74%となっていた。俊敏性の検査は自分の年齢を伝えて検査をして、俊敏性年齢は何歳ですと伝える。今は年に1回だが、春と秋の年に2回くらいして、認知症は免許切り替えの時に検査されるが、俊敏性、身体能力の低下を自覚して頂くということも大切と思う。もう1つは、返納が安心してできる環境作りと両方で取り組むことで、今よりもスムーズにいくと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ 交通安全という側面も多分にある。免許返納の関係で俊敏性の講習・検査について、所轄の河内長野警察署とも協力して、春と秋に全国交通安全運動を展開しているが、どういった講習をいつ頃したらいいか協議している。できるだけ</p>

<p>甲斐委員 (市民公募)</p>	<p>機会を多く設けて、老人クラブの方にも参加していただけるようにしたい。免許返納の方の環境づくりということで、大阪第一交通さんが運転経歴証明書の提示でタクシー料金 10%割引といったことをされているが、市としても商工会へ働きかけて割引などの特典が受けられないか取り組んでいる。</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ モックルコミュニティバスとか南海バスの話の際、文化財の数が多いと仰っていたが、河内長野市民以外への PR として難波の方や大阪府外の方に PR はしているのか。府外の方にも利用してもらえるように、PR をしてはどうか。モックルコミュニティバスに乗っている時間が長く感じるがあったが、観光地のように向かい合わせの座席にするとか、モックル弁当としてセットで売るとか、高齢者ばかりに目を向けるのではなく、若い世代にもワクワク感があるような、バスに乗った時の特別感があるといいのではないかな？そうすると、1 回乗ってみようかなという気にもなるのではないかな？</p>
<p>太口委員 (環境経済部)</p>	<p>➤ 文化財が多い中、市外でも PR してはどうかということについて、以前は観光について広域で組織をつくって、河内長野市の PR を他市で行っていた。</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ 広域での取り組みについて、南河内地域や堺市、大阪府富田林土木事務所、大阪観光局とも協力している。今年の3月から阪急電車のコンコース、梅田駅地下でデジタルサイネージにて1ヶ月間、場所は1週間ずつ変わっていくが、市内の文化財の紹介をしている。予算がかかる話ではあるが、引き続き取り組んでいきたい。</p>
<p>榎井会長</p>	<p>➤ ラブリーホールへ行くのに不便という声を聞くが、モックルコミュニティバスで行ける場所もたくさんある。モックルコミュニティバスでラブリーホールの PR をしている。大きなお金をかけて何かをしようということもあるが、ちょっとした気づき・取り組みで変わることもあるので、皆で知恵を出していきたい。</p>
<p>上野委員 (観光協会)</p>	<p>➤ 先日、モックルコミュニティバスに初めて乗ったが、駅へ行くのに3つも4つも何でバス停があるのだろうと感じた。南海バスにお聞きしたいが、天野山でバスに乗ると到着時刻は載っているか？発車時刻を見られるが、到着時刻は載っているか？朝、観心寺から乗ると、どのバスに乗ったら天野山行きのバス</p>

	<p>に乗れるのかがわかるといい。河内長野駅で乗れるかどうかよくわからない。午前中に観心寺へ行って、午後から天野山へ行くのは辞めようと思ってしまおう。観心寺と天野山は日本遺産の登録に向けて取り組んでいるので、これから観光客が増えて行く中で、どのバスに乗れば次はこのバスがあるとわかるといいのではないかと？</p>
<p>秋元委員 (南海バス)</p>	<p>➤ 個別で観心寺へ行って、金剛山へ行くためのバスがどれかと表示することはできる。前のバスマップでも書いてあったが、バスロケーションシステムで検索して見て頂くと、到着時刻も案内している。スマートフォン、携帯電話の機種によっては難しいこともあり、全ての方にご利用して頂くのは難しいが、バスの時間をできるだけわかりやすく提供したいと考えている。</p>
<p>上野委員 (観光協会)</p>	<p>➤ 土日だけでもそうした時間がわかるといい。</p>
<p>秋元委員 (南海バス)</p>	<p>➤ 我々も観光に来られる方にバスを利用して頂きたいと考えており、今後も工夫していきたい。</p>
<p>若林委員 (商工会)</p>	<p>➤ 普段は車を使って、バスを使うことはないが、バス停で待たれている方やタクシーを待っている方を見ると、駅だと屋根があって差ほど感じないが、雨の日にはバス停に早くに行っても、雨よげがなかったりする。雨の日も晴れの日も利用しやすくする取り組みは、市としてはしていないか？</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ 市として、補助制度を作っており、バス事業者がバス停の上屋を整備する際に工事費の一部を補助するという制度がある。バス停の数が多かったり、駅近くだとコンビニ等の店舗の屋根の下で待つこともでき、ニーズが高いところとそうでないところがある。ニーズが高いところは、バス事業者と協議して進めていきたい。</p>
<p>伊勢委員 (和歌山高専)</p>	<p>➤ 評価指標のところでは、おそらく地域公共交通網形成計画は立地適正化と両輪でリンクしている計画になっている。地域公共交通網形成計画の4頁では河内長野駅以外の駅を都市核としている。他の駅も都市機能誘導区域を設定している場合は、都市機能を誘導して賑わいを考えているはず。都市機能誘導区域に入っている駅は、入れた方がいいのではないかと？高齢者にとっての暮らしやすさの満足度について、アンケート調査結果では高齢者以外の市民にも聞いているのではないかとと思うが、高齢者に聞いた数値で設定してはどうか？</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ アンケート結果については年齢別で算出できそうなので、対応していきたい。都市機能誘導区域に入っている駅についても検討していきたい。</p>

日野副会長

➤ 高齢化が進み外出率が低くなると、バスを利用する人はもっと少なくなる。そうなっているにも関わらず、もっとみなさんバスを利用しましょうとなると、高齢者に外出してもらい、バスを利用してもらうということになる。定年になった方は、まだまだ色々なことができるので、外出してもらう仕組みを作らないといけない。データバンクをつくって、行政がマッチングしてはどうか？学童保育がその典型だと思う。そういう人たちがどんな行動をするのか、これからの高齢者の行動・活動を踏まえた公共交通サービスを提供しないといけない。すぐにはできないが、将来的に検討して頂きたい。乗る人が少ないので事業規模縮小しかない。公共交通側で何かカンフル剤みたいなことをやろうとすると、千代田線みたいに、何かをすることでお客さんが増えるかもしれないと考えないといけない。大阪府のシームレス化とか運輸連合とか、使いやすいシステムにするということがある。それに対して行政が行政投資として事業者と一緒に投資をして、こういう効果を生むということであれば税金を使うことに何ら問題ない。今は、財政負担を抑えなければいけないという概念で、投資という概念がない。維持管理も義務的投資として負担になっているが、お客さんを考えたら積極的投資になるのではないか？評価指標は今の公共交通で考えられることが挙げられているが、将来的には都市核と一緒に考えて外出が増えるかもしれない。同伴が増えると立ち寄り、寄り道が増えるかもしれない。アンケートでは駅へ寄って食事をするといった消費行動がある。健康面での投資効果も挙げられるかもしれない。車に乗っていると動かないので、単に外出が増えればいいというものではない。効果的行政投資の実現ということを入れて頂いたが、将来的投資ということを知って頂きたい。欄外にモビリティマネジメントの注釈を入れてもらっているが、本来は個人が手段を選択する際に、環境に配慮したら公共交通になるのだろうと思うが、日本には環境が反映される考え方がない。TDMなどと対でない、環境配慮意識がないので効果がない。定住交流は総合戦略で謳っている話で、人口が減るのに人口の定住や流入が必要と言っているが、すぐできたら苦労しない。コンパクトシティで歩いて暮らせるといったことで立地適正化があるが、全ての計画（分野）でキーになるのは「公共交通」。車の方が安いし便利という仕組みを変えない限りは無理。MMをやるならTDMもやるべき。河内長野駅前には車では入れないとか、歩いて楽しんでくださいなど、中心市街地の都市の集積があれば、都市機能誘導区域になっていけば、そういったことも可能かもしれない。不便な方を使えと言っても無理な話。高齢者全体に動いてもらって使ってもらうということと、車で行きにくい・バスで行きやすいという仕組みも考えていかないといけない。都市計画部局でも道路空間再配分が進められている。道路の車線を減らして歩行者、自転車、溜まり空間などにするものだが、そうしたところにコミュニティバスが走ってもいい。そういう方向に向かっていくように書かれていると思う

	<p>が、色々な社会状況を先取りして、みなさんのご意見を取り入れて反映して頂きたい。</p>
事務局	<p>➤ 審議の結果、承認を得る。</p> <p>【議題3】平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</p> <p>➤ 資料3（平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価）について説明。</p> <p style="text-align: center;">（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
日野副会長	<p>➤ これ自身は問題ないが、計画に係るものについて、先程議論してきた話で、バスの利用客数といった数値が挙がって来ないので、評価が難しい。千代田線の話でも、どれくらい増えて、どれくらい効果があったのか、と思っても具体的にない面がある。フリー乗降についても、その後どうなったか問い合わせさせて頂いている。色んな事業を河内長野市でもして頂いているので、できればフォローアップは必ず必要なので、やってみただけ良くなかったからこうなっている、といったことも出して、皆さんで議論して知恵を出し合っていくようにしたい。計画を作って終わりではなく、実施した事業やサービスについて皆さんと議論していく資料を頂きたいと思う。</p> <p>タクシーも東京中心に乗合実験を始めているとか、地域を決めて定額の運行実験をやっていたり、観光バスを中心に運転手を融通し合うとか国でも実験している。まちづくりの計画がどんどん進んでいて、運輸系でも実験が進められており、ここでできるだけ情報を出し合って、中身を議論していきたい。</p> <p>➤ 審議の結果、承認を得る。</p>
事務局	<p>【議題4】商工祭でのバス・タクシーの展示について</p> <p>➤ 商工祭でのバス・タクシーの展示について説明。</p> <p style="text-align: center;">（※スクリーンにて説明のため資料なし）</p>
林委員 (大阪第一交通)	<p>➤ タクシーは電車やバスと比べると公共交通からちょっと外れてお高いものと捉えられていたが、先程見て頂いたように、子どもさんやお母さんにも楽しんで頂いた。子どもさんからは小さい窓を付けて欲しい、タクシーメーターを後ろにも付けて欲しい、何分で着くのかかわかるといいなどお声を頂いた。大阪第一交通のアプリも宣伝させて頂いた。市民の方と触れ合う機会を頂き、ありがとうございました。</p>

小谷委員 (近鉄タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 初めて参加させて頂いた。タクシーはちょっと高いというイメージがあるが、市民と触れ合えて良かった。午前は18組、午後はトラブルがあって12組参加してもらった。初めてで良い経験になった。次に機会があれば、大阪第一交通、南海バスと打ち合わせをして進めたい。大阪第一交通の制服を来て、うちで体験しているケースもあった。</li> </ul>
遠藤氏 (南海バス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 商工祭当日は、制服の着衣体験等を、主にお子様連れの家族を対象にさせて頂いた。バスに触れ合える貴重な機会と捉えている。バスロケーションシステム等をPRさせて頂く良い機会だった。今後もこういった機会を活かしたい。</li> </ul>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>【議題5】 その他案件について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ その他の案件について説明（※口頭にて説明のため資料なし） 楠ヶ丘地域の取組状況について（報告） 桐ヶ丘地域の取組状況について（報告）</li> </ul> <p style="text-align: center;">（委員意見なし）</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 次回の会議開催は、3月26日（月）を予定している。</li> </ul>
榊井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本日は慎重なご議論いただきありがとうございました。</li> </ul>

以上

この頁は空白です。